

教員資格及び教育内容等の自己評価書様式

【自己評価 1-1】専任教員の配置状況

学部・学科等の名称	専任教員数								非常勤教員	専任教員一人あたりの在籍学生数	備考
	教授	准教授	講師	助教	計	基準数	うち理学療法士又は作業療法士数	助手			
作業療法士学科 夜間部4年制	人	人	人	人	6人	6人	6人	人	人	23.2人	
計	人	人	人	人	6人	6人	6人	人	人	23.2人	

【自己評価 1-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正であり、かつ関連領域を教授できる医師等の専門家が配置されている。	3
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の配置人数が適正である。	2
	理学療法士又は作業療法士である専任教員の人数が適正でない。	1

【自己評価 1-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	全ての養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	4
	9割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	3
	8割以上の養成施設指導ガイドラインの教育内容（講義）を専任教員か、専任教員と同等以上の知識を有する教員が担当している。	2
	上記以外である。	1

【自己評価 1-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、全員が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	3
○	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、一部が臨床に携わることで臨床能力の向上に努めている。	2
	専任教員（理学療法士又は作業療法士）は、臨床に携わることで臨床能力の向上に努めていない。	1

【自己評価 2-1】養成施設指導ガイドラインとの連動状況

分野 (基礎・ 専門基礎 ・専門)	指定規則教育内容	相当授業科目 名	担当 コマ 数	担当教員	
				氏名	職名 (専任・兼任)
基礎分野	科学的思考の基盤	文章表現	15	本岡 健太郎	専任
		情報処理Ⅰ	15	森 清人	兼任
		情報処理Ⅱ	15	森 清人	兼任
		国際教育学	8	小松 真奈美	専任
	人間と生活 社会の理解	心理学	15	木下 亜子	兼任
		倫理学	8	陀安 広二	兼任
		コミュニケーション論	8	吉高 愛	専任
		レクリエーション概論	15	吉高 愛	専任
		キャリア教育	8	吉岡 有理亜	兼任
	専門基礎 分野	人体の構造と機能及び心身の 発達	解剖整理学Ⅰ	15	孫 明
解剖整理学Ⅱ			15	孫 明	兼任
解剖整理学Ⅲ			15	吉岡 有理亜	兼任
解剖生理学Ⅳ			15	椿原 一郎	専任
解剖整理学Ⅴ			15	孫 明	兼任
解剖生理学Ⅵ			15	孫 明	兼任
解剖生理学Ⅶ			15	山元 昭彦	専任
運動学			15	椿原 一郎	専任
運動学実習			15	本岡 健太郎	専任
機能解剖学			15	鎌田 荘平	兼任
人間発達学			15	上野 温子	兼任
疾病と障害の成り立ち及び回 復過程の促進			医学総論	15	吉高 愛
		臨床心理学	15	筒井 亮太	兼任
		神経内科学	15	山元 昭彦	専任
		整形外科学	15	岩槻 厚	兼任
		小児科学	15	麻生 雄太郎	兼任
		一般臨床医学	8	本岡 健太郎	専任
		一般臨床医学	7	高野 佳子	兼任
		精神医学	15	大野 力	兼任
		内科学	15	吉高 愛	専任
保健医療福祉とリハビリテー ションの理念		リハビリテーション概論	15	改發 友貴	専任
		リハビリテーション医学	15	本岡 健太郎	専任
		職業関連技術論	8	永田 穰	兼任

専門科目	基礎作業療法学	作業療法概論Ⅰ	15	林 辰博	兼任
		作業療法概論Ⅱ	15	林 辰博	兼任
		作業療法概論Ⅲ	8	改發 友貴	専任
		基礎作業療法学実習	15	改發 友貴	専任
		基礎作業療法学	15	吉岡 有理亜	兼任
		作業療法研究法Ⅰ	8	林 亜遊	専任
		作業療法研究法Ⅱ	8	林 亜遊	専任
	作業療法管理学	作業療法管理学	15	鎌田 荘平	兼任
	作業療法評価学	作業療法評価学実習Ⅰ	15	三田 直人、上東 隆明	兼任
		作業療法評価学実習Ⅱ	15	三田 直人	兼任
		作業療法評価学実習Ⅲ	15	三田 直人	兼任
		作業療法評価学	15	吉岡 有理亜	兼任
		作業療法評価学演習	15	椿原 一郎	専任
	作業療法治療学	高次脳機能障害治療学	15	山元 昭彦	専任
		発達障害治療学	15	鎌田 荘平	兼任
		日常生活活動学	15	岡本 雅	兼任
		身体障害治療学Ⅰ	15	永田 作馬	兼任
		身体障害治療学Ⅱ	15	三田 直人	兼任
		精神障害治療学Ⅰ	15	大野 力	兼任
		精神障害治療学Ⅱ	15	大野 力	兼任
		老年期障害治療学	15	平 十幸	兼任
		職業関連技術論	15	西出 義明、谷合 義旦	兼任
		作業療法特論	15	山元 昭彦	専任
		作業療法総合実習	15	山元 昭彦	専任
		作業療法総合演習Ⅰ	30	吉高 愛	専任
		作業療法総合演習Ⅱ	30	改發 友貴	専任
		作業療法総合演習Ⅲ	30	椿原 一郎	専任
	地域作業療法学	地域作業療法学	15	林 辰博	兼任
		地域医療論	15	山元 昭彦	専任
	臨床実習	見学実習	90	改發 友貴	専任
		地域実習	45	椿原 一郎	専任
		評価実習	225	椿原 一郎	専任
		総合臨床実習	900	山元 昭彦	専任
	その他	国家試験演習Ⅰ	15	吉岡 有理亜	兼任
		国家試験演習Ⅱ	15	椿原 一郎	専任
		国家試験演習Ⅲ	15	山元 昭彦	専任
		国家試験演習Ⅳ	15	山元 昭彦	専任
		国家試験演習Ⅴ	15	山元 昭彦	専任

* 実習科目は時間で記載

【自己評価 2-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程を体系的に編成している。	3
	養成施設指導ガイドラインに基づき、教育課程をおおむね体系的に編成している。	2
	養成施設指導ガイドラインに基づいていない、または教育課程を体系的に編成していない。	1

【自己評価 2-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	4
	シラバスにすべての授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法をおおむね明記している。または、大半の授業科目の授業計画、全体目標、成績評価基準・方法を明記している。	3
	シラバスの記載が十分ではない。	2
	シラバスが作成されていない。	1

【自己評価 3-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施している。	4
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習をおおむね実施している。	3
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を十分に実施していない。	2
	養成施設指導ガイドラインに従った診療参加型による臨床実習を実施していない。	1

【自己評価 3-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されている。	4
○	講義と関連の実習がおおむね連動して実施されている。	3
	講義と関連の実習が十分に連動して実施されていない。	2
	講義と関連の実習が連動して実施されていない。	1

●基本情報：臨床実習の見学又は実践する範囲とそれに関連する講義科目それぞれの開講時期を記入してください。

臨床実習の見学又は実践する範囲	開講時期	関連講義名	開講時期
見学実習	2 年前期	作業療法概論 I	1 年後期
見学実習	2 年前期	見学実習	2 年前期
地域実習	3 年前期	地域作業療法学	3 年前期
評価実習	3 年後期	作業療法評価学演習	2 年後期
評価実習	3 年後期	作業療法評価学	3 年前期
評価実習	3 年後期	作業療法評価学実習 IV	3 年後期

【自己評価 3-3】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で十分な臨床実習が実施されている。	3
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設で一部の臨床実習が実施されている。	2
	養成所指導ガイドラインで定める要件を満たす主たる実習施設を置いていない。	1

【自己評価 3-4】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	適正な臨床実習指導者の下で実習が実施されている。	4
	適正な教員の監督指導の下で実習がおおむね実施されている。	3
	適正な教員の監督指導の下で実習が十分に実施されていない。	2
	適正な教員の監督指導の下で実習が実施されていない。	1

【自己評価 3-5】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制があり、対応が十分である。	3
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制はあるが、対応が十分でない。	2
	臨床実習におけるハラスメント防止のための体制がなく、対応も不十分である。	1

【自己評価 4-1】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	自己点検・評価の体制があり、改善に向けて機能している。	3
	自己点検・評価の体制はあるが、改善に向けて機能していない。	2
	自己点検・評価の体制がない。	1

●基本情報：自己点検・評価体制記入してください。

自己点検・評価組織名	学校関係者評価委員会
委員名（委員長）	関本 充史、西 基之、湖崎 淳、段上 靖治、高木 枝美子、伊藤 紀美代、田中 幸恵
組織の開催頻度	1年に一度
組織の取り組み内容	自己点検表に基づく自己評価と学校関係者による評価を実施している。 委員会では2022年度重点項目結果および自己点検自己評価について報告を行った。評価項目1-3学校の将来構想を抱いているか、2-9情報システム化等による業務の効率化が図られているか、3-14キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか、3-16育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか、4-20資格取得率の向上が図られているか、4-21退学率の低減が図られているか、4-22卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか、5-23就職に関する体制は整備されているか、5-25学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか、6-33防災に対する体制は整備されているか、7-34学生募集活動は、適正に行われているか、10-46学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか、10-47学生のボランティア活動を奨励、支援しているかの改善状況について報告を行った。 2023年度重点項目目標について説明。 委員からは4-22卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか、4-21退学率の低減が図られているかについて意見が挙がった。
自己点検・評価結果の公表	H Pで公表（URL： https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/schoolEvaluation/2023.html ）

自己点検・評価組織名	教育課程編成委員
委員名（委員長）	橋本 勝信、中道 真樹、平木 たい子、林 亜遊、永吉 啓吾、鎌田 莊平、吉田 美香、高柿 有里、澄川 良一、藤井 達也、関本 充史、林 仁、西基之、段上 靖治、堀毛 信志、加藤 祐一、田中 孟、名古 将太郎、本末 隼
組織の開催頻度	1年に4度
組織の取り組み内容	5月・12月に学科ごとの小委員会を開催し、教育課程編成委員での取り組みと成果について検討を行った。小委員会での協議内容を踏まえて、6月・1月に全学科で全体会を開催した。 第1回全体会では、今年度 学校運営、今後の医療福祉が目指すところ、教育課程編成小委員会 2023年度 活動計画報告を行い、今後の医療福祉が目指すところについて委員から意見を言いディスカッションを行った。 第2回全体会は今年度の学校運営振り返りと教育課程編成小委員会2023年度活動報告を行い、①医療職における合理的配慮の実際と②これからの医療職に求められる人材確保とその育成について委員から意見を言いディスカッションを行った。
自己点検・評価結果の公表	HPで公表（URL： https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/ ）

【自己評価 4-2】当てはまる自己評価欄に○をつけてください。

自己評価	評価内容	判定
○	シラバス記載内容を改善する仕組みがあり、シラバスの記載内容の改善が行われている。	3
	シラバス記載内容を改善する仕組みはあるが、シラバスの記載内容の改善は十分ではない。	2
	シラバス記載内容を改善する仕組みがない。	1

●基本情報：シラバス記載内容を改善する仕組みについて記入してください。

該当する仕組み	名称	教務部・FDSD委員会
	委員構成等	平木たい子、林亜遊、永吉啓吾、田中研志、高柿有里、小嶋高広、山元明彦、中西令子、遊佐友美、西明子
	改善の仕組みの実際	年4回の授業アンケートの実施し、学生からの意見を基に授業内容の改善を実施している。 講師会議を開催し、学校・学科の教育方針や教育内容について協議を行っている。新入職教員対象の公開授業とベテラン教員対象のオープン授業によって授業内容の改善を行っている。 上記を踏まえてシラバスを作成。教務部においてシラバスの内容を確認し、HPで公表している。

【自己評価 4-3】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げるための取り組みを記入してください。

一般社団法人 リハビリテーション教育評価機構 2022年に受審 HPで公表（URL：https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/rehabilitation/index.html） 私立専門学校等評価研究機構 第三者評価 2023年に受審 HPで公表（URL：https://www.ocmw.ac.jp/gakkou/johokoukai/schoolEvaluation/2023.html）
--